

8月18日～8月24日までLabo4ではタイの北方に位置するチェンライ県の山岳少数民族の村でボランティアワークキャンプを行います。「途上国女性の社会進出課題」をテーマに、昨年度の成果を踏まえ、研究を深めてまいります。

## タイ・チェンライ県での研修が始まりました！



[チェンライ空港にて]

### 8/18(初日) 成田空港からチェンライ空港へ到着

途中バンコクで国内線に乗り換え、チェンライの空港に到着したのは日本を出発してから約9時間後でした。今回も昭和女子大学の学生の方6名と共に調査研究に取り組みます。

チェンライ空港では、現地でお世話になるNGO ミラー財団のスタッフの方が出迎えてくださいました。ジャスミンの花の蕾でできているレイをかけていただきました。このレイは、着けていると体温で花が開いてきて良い香りがしてくるととても素敵なので、長時間のフライトの疲れを癒してくれました。

## 事前勉強会そしてアカ族の村へ 8/19・8/20



[ミラー財団でのレクチャー]



[ミラー財団入口にて]

### 2日目 ミラー財団と山岳民族博物館

初日には部屋の中にいるヤモリや虫に大騒ぎをしていた生徒達も2日目には慣れ、何がおきても平然としています。

午前中にミラー財団で山岳少数民族やホームステイについてレクチャーを受けました。タイ・ミャンマー・ラオスが国境を接するこの辺りには沢山の少数民族が生活していて大きな部族だけでも10以上あり、それぞれが独自の言語・文化を持っています。以前は高地に暮らしていた山岳民族ですが、タイ政府の方針で平地に移されて定住を余儀なくされ、言語や職業、教育等、様々な面で問題を抱えています。

午後には「山岳民族博物館」を見学しました。夕方にはアカ族の村に入り、村民の家庭に二泊させていただき、文化を学ぶと共に女性が抱える問題について調査をします。



[山岳民族博物館にて]



[アカ族アパ村にて]



[アカ族の方々との懇親会]



[アカ族のお母さんから刺繍の手ほどき]



[竹コップ作り]



[アカ族の踊りを体験]

### 3日目 午前 アカ族のアパ村での生活

アカ族の村の生活は朝が早く、4時半には仕事を始めます！8/20は朝から大雨です。東京ではほとんど経験しないような豪雨に、自然の驚異を感じました。

午前中はアカ族の女性に集まっていただき、沢山のお話を伺うことができました。

生徒達は個々に研究テーマを持っており、それに関して次から次へと質問を重ね、沢山のことを知ることができました。

予定の時間を大幅にオーバーして3時間以上の時間をとっていただきました。

アカ族にはアカ族独自の言語があり、生徒たちは日常生活では身振り手振りでホストファミリーとコミュニケーションをとっていますが、話し合いの場では、通訳の方に入っていただきました。昨年度の経験から、今年は生徒たちの事前準備がしっかりでき、女性問題についてより深く調べることができたようです。

### 午後 刺繍と竹細工のレクチャー

午後は農作業の予定でしたが、雨のため刺繍と竹細工の時間となりました。

沢山の部族がある中でもアカ族の女性は器用で、素晴らしい刺繍技術を持っていることで有名です。ミラー財団は山岳少数民族の自立支援を行っているNGOですが、アカ族の場合は、この刺繍の技術を活かしてフェルトレード用の商品を作り収入を得るというプロジェクトに取り組み、着実に成果を上げています。

生徒たちはアカ族のお母さんたちに手ほどきを受けましたが、大変難しく何度もやり直しになってしまいました。2時間半も必死に取り組み、お母さんたちとより親しくなることが出来ました。

### 夜 アカ族伝統の踊りを体験

夜には雨も上がり、キャンプファイアーを囲んでの踊りを行うことができました。この踊りは、女性たちだけで行う伝統的なものです。

生徒もアカ族の民族衣装を着せてもらい、踊りの輪に入りました。

アカ族の方たちともずいぶん打ち解けた雰囲気ができあがり、温かみを感じた素敵な時間でした。